

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立東住吉高等学校
(准)校長名	萩原 美由紀

開催日時	令和6年1月21日(日) 9時30分～
開催場所	大阪府立東住吉高等学校 校長室
出席者(委員)	竹内会長、川本副会長、名和委員、山本委員
出席者(学校)	萩原校長、粉生教頭、多田事務長、成川首席
傍聴者	
協議資料	令和5, 6年度学校経営計画及び学校評価、学校教育自己診断、授業アンケート結果
備考	

議題等(次第順)	
報告	令和5年度学校評価について 学校教育自己診断について 授業アンケート結果について
協議	令和6年度学校経営計画について

協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>●授業アンケート結果について、これまでも少しずつ上昇してきたが、今年度数値がさらにワンランク上がった印象。コロナが落ち着き、活動が戻ってきたことも影響している。また、ICTの活用で双方向のやり取り、個別の対応を行っていくことが生徒が求める授業の形となり、実践できている。</p> <p>●働き方改革と行事の継承を進めていくために、教員全体で取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭は同窓会としても大事なこと。卒業生も組織の一員として活用してもらえるよう協力する。その他でも外部人材の活用は伝統行事の継承を維持するには必要となる。人材を精査して協力したい。 ・中学校でもコロナを機に行事を縮小し、働き方改革に役立ったことはある。行事の内容を元に戻して伝統を守ることは難しいが、中学生が高校を選ぶ際、行事を楽しみにしているところはある。行事を円滑に運営するために、外部の人材が入れる部分を線引きし、教員が関わることを明確にする必要がある。 <p>●学習指導にかかわる自己診断結果の保護者肯定的回答が低い点を改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の評価が低いのは中学でも同じ。新型コロナの影響で参観も少なくなったこともあるが、教員と接している生徒の方が評価が高くなる。また家で生徒と保護者の会話が少ないため、学習指導については伝わらないことが多い。生徒評価が高ければよいと思う。 ・高校は私学との比較が大きな壁となっている。私学が無償化であれば、私学の方がサービスがよいという印象がある。教員数、設備、サポート体制など保護者にとっては魅力があり、生徒との感じ方の差が出てくる。公立は本当に厳しくなっている。東住吉高校は教員が協力し合い、向上心があるので、先を見通した教育(学習サポート)を継続していただきたい。 ・保護者が期待しているのは、進学実績のみでなく、人間性を育ててもらえることである。東住吉高校は伝統や行事を大切にしていることが大きく評価できる。クラブや行事を通して気持ちをぶつけ合ったり、困難を乗り越えていくことで人間力が向上する。人間力を評価する指標がないので、学習指導の評価に結びつかないところがある。保護者が子どもの学習態度に対する評価と捉え、数値に感わされなくてよいのではないか。 ・「全員が輝ける学校」勉強+何か・・・(クラブ、国際交流、行事など)これが、本校の特色である。働き方改革と矛盾する部分もあるが、生徒主体となるよう、改善を考えていく。 	

次回の会議日程	
日時	未定
会場	未定